

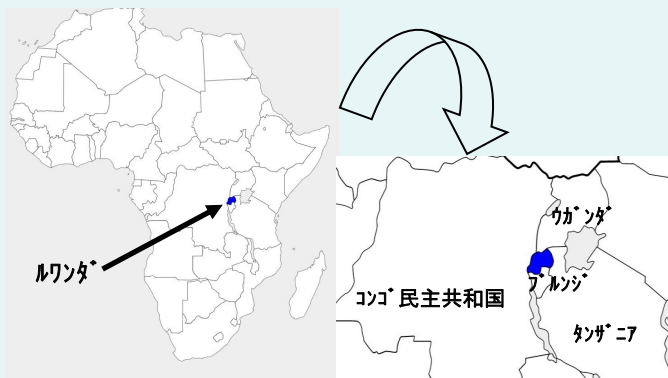
支援対象地域

ルワンダ共和国



面積：2.63万km²（長野県約2つつ）
人口：約1,230万人（2018年）
首都：キガリ（人口約106万人 2018年）
言語：ルワンダ語、英語、フランス語、スワヒリ語
宗教：キリスト教、イスラム教
産業：農業（コーヒー、茶等）

※外務省HP ルワンダ基本データ（2019年）



ルワンダは1990年代の内紛が終結して以降、急速な経済発展を遂げており、「アフリカの奇跡」と呼ばれています。

一方で、人口の8割が暮らす農村部では、高い貧困率、社会インフラの未整備による安全な飲料水やトイレの不足、感染症、そして気候変動の影響による自然災害といった複合的な社会課題に直面しており、首都キガリとの著しい経済格差が生じています。

■開発指数

- ・55.5%が国際貧困ライン以下（1.9US\$/日）（2016年、世銀）
- ・UNDP人間開発指数 157位/189カ国（2019年、世銀）

■保健課題

- ・飲料水へのアクセス 水道普及率2.4%（2016-17、ルワンダ世帯調査）
- ・マラリア感染率 世界ワースト7位（2019、世界保健機構）

■気候変動の影響

- ・気候変動に対して、世界で29番目に脆弱（2018年、ワシントン・外務省）
- ・高温化、干ばつ、豪雨、地滑り、水不足、食糧危機

これまでのご支援、誠にありがとうございます。
赤十字の活動は、皆さまからのご寄付に支えられています。

年間目標額 1,000万円

皆様のご支援でできること、例えば・・・

■10,000円→家畜1匹の購入（約6,000円）

トイレ1棟の建設（約6,000円）

■50,000円→衛生教室用資材1セットの購入（約18,000円）

料理教室用資材1セットの購入（約35,000円）

■450,000円→移動式映画館用機材1セット購入（約420,000円）

ルワンダ

気候変動等レジリエンス強化事業



黄色のポリタンクを持って谷底にある水汲み場に通う子どもたちと一緒に（ルワンダ・ギサガラ郡ルンビ村）

日赤 ルワンダ

検索



〒105-8521 東京都港区芝大門1-1-3
日本赤十字社 国際部 開発協力課
TEL:03-3437-7089

2020年7月作成

人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.

災害や貧困に負けない村づくり

日本赤十字社は、ルワンダ赤十字社と連携して、災害や貧困に苦しむ人々の支援事業(「**ルワンダ気候変動等レジリエンス強化事業**」)を実施しています。ルワンダ南部のギサガラ郡では、安全な水や清潔なトイレが不足し、感染症の脅威に直面しています。子供達は、遠くまで水汲みに通い、学校に行く機会を奪われています。

さらに、気候変動の影響による豪雨、洪水、土壌浸食などの被害が多発しており、効率の良い農業が出来ないことによる慢性的な栄養不足や貧困も問題となっています。

本事業では、住民が主体となって地域の様々な課題に取り組む「モデルビレッジアプローチ」を用いて、5つの村で支援を行い、「レジリエンス＝自ら立ち上がる力」を高めます。具体的には以下の4つの柱で活動しています。



水・衛生環境改善

- ・給水設備の設置・維持管理
- ・世帯向けトイレの改装
- ・公共トイレの設置



生計支援

- ・家畜の提供
- ・菜園の支援
- ・貯蓄融資制度の利用



環境・緑化対策

- ・地滑り対策、苗木の育成・植林
- ・バイオマス燃料の製造
- ・保温技術・器具の普及



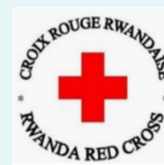
持続性強化

- ・防災や保健に関する移動式映画館
- ・栄養指導、料理教室
- ・行政等との連携、赤十字支部の強化



事業地のギサガラ郡の風景

ルワンダ赤十字社



ルワンダ赤十字社は1962年に設立されました。同社はアフリカの中でも特に、安定的な事業運営と高い事業実行力で評価されている社です。また政府や地方行政と良好な関係を築いていること、活動には支部やボランティアを活用し強固な支部組織を有していることなどの特徴を有しています。

上記モデルビレッジアプローチでも実績を有し、数カ国の赤十字社の支援を受け、国内540以上の農村で実施されてきました。

事業概要

事業名：ルワンダ気候変動等レジリエンス強化事業

期 間：2019年12月～2024年6月（4年7か月）

事業地：ルワンダ南部 ギサガラ郡の5村

受益者：約8,500人(2,000世帯)

直接受益者:3,800人(900世帯) 支援対象5村

間接受益者:4,760人(1,100世帯) 近隣7村への波及効果

目 的：ルワンダ国内でも経済的に特に貧しい郡の5村において、気候変動の影響と考えられる災害や感染症、貧困などの社会課題に対して、地域の人々のレジリエンスを強化することにより改善を図ること。

- 目 標：1)対象地域世帯が生活の向上に共同で取り組む。
2)対象地域が災害リスクの低減と気候変動による影響の緩和に向けた活動に積極的に取り組む。
3)モデルビレッジアプローチが持続するとともに成果が文書化され、他地域にも普及する。

活 動：1)生活向上に向けた活動

- ・保健、衛生、栄養の知識の普及
 - ・貧困世帯への生計支援(菜園、家畜等)
 - ・トイレ、飲料水設備等の設置と維持管理
- 2)災害及び気候変動リスク低減のための活動
- ・調理用燃料の木材利用削減(バイオマス燃料、改良釜等)
 - ・地滑り対策と緑化事業
 - ・ルワンダ赤防災対策チームの強化、地域防災強化
- 3)普及と持続性のための活動
- ・モニタリング、評価資料の作成
 - ・政府や地域との連携を強化
 - ・ルワンダ赤支部の体制強化、ボランティアの養成

現地からのメッセージ



吉田 拓
日赤ルワンダ現地
代表部首席代表

ルワンダでは、大雨の真っ暗な夜、猛烈な雨音の中で、土砂崩れにおびえている家族や、毎日飲み水を得るために1日に2時間かけているお母さん達がいます。赤十字は、そんな人たちのために働くエキスパートです。ルワンダの農村から、ちょっといい未来を切り開いていきたい皆さんのご協力をお願いします。